

人への投資が、  
未来をつくる。

## 批判ではなく提案・創造の政治へ 自分らしく生きられる社会をつくる

民進党代表 蓮舫

「子どもたちを大事にする政治を行っていく」。それが私の政治家としての原点です。われわれ民進党議員は「出会った人たちの声をしっかり受けとめる政治家でありたい」という共通の思いがあります。全ての人々が幸せになる社会をつくりたいと強く思っています。そのためには、人への投資が重要です。誰もが願えば仕事があり、労働に見合った報酬を得られ、望めば子どもを産むことができ、子どもの育ちを社会全体で支える。そして人生の先輩方には安心のシニアライフを送っていただく。そんな「安心の好循環」をつくることこそが、安倍政権とは全く違う私たち民進党が目指す国の形です。私は民進党代表として、その実現に向けて先頭に立ち進んでいきます。



# 論戦を挑み、提案する

「民進党を選択していただける政党につくっていく。私たちには政策も対案もある」と新代表就任直後の記者会見で語った蓮舫代表は、臨時国会の質疑では安倍政権の良い点は評価したうえで足りざるを指摘し、さまざまな観点から提案を行っている。



することによって、国家が担ってきた社会福祉や公的扶助を家族で担えという流れになるのではないかと心配している」と懸念を表明した。

## 介護

安倍政権が進める介護報酬の大幅引き下げについて「介護報酬を引き下げれば、事業者の収入が減る。人への手当てを削減せざるを得なくなり、働く人がいなくなる。施設があっても人がいなければ、サービスを提供できない。そして、サービスを受けていた人たちの居場所がなくなる」と指摘し、

なった。行き場所のなくなったお年寄りがいるという現実に向き合ってほしい」「介護職員の給与を手当ですることでサービスの充実につなげ、預けられる環境を整えることが先だ。民進党は法案を出

## 保育

し、提案し続けている」と述べ、改善を求めた。

安倍政権が保育施設増に力を注いでいる点に関して「受け皿整備を否定しないが、問題はその保育所で働く人が決定的に不足しているということ。施設はあっても子どもを預けられなければ、子どもを産んだ女性も、仕事をあきらめ、家で育児をするしかない。ぜひ人への支援に重点を置いていただきたい」と安倍総理に求めた。民進党は給与を5万円増額する保育士の処遇改善法案を提出している。

## 憲法

10月5日の参院予算委員会の質疑では安倍政権の姿勢をただし、改善策を提案した。

自民党憲法改正草案に「家族は、互いに助け合わなければならない」とあることについて蓮舫代表は、「多様な生き方が今、進んでいる。重んじるべきは個人の尊重だ。家族の重要性、価値は大切だが、それは道徳的概念であり、あえて憲法の条文に書くことに違和感を覚える。家族は支え合うべきと憲法で規定

する。今年1月から8月までの老人福祉介護事業の倒産件数は、過去最高のペースだ。特別養護老人ホームには要介護3以上の入所者が増え、要介護1・2の人たちは家に戻るしかなく

### 介護職員等の処遇改善法案（民進党案）

介護・障害福祉従事者（※）の人材確保のため、賃金を改善する措置を講ずる事業者等に対し、当該措置に要する費用に充てるための助成金を支給する（事業者が①②のどちらかを選択）

#### ①介護・障害福祉従事者のみの賃金の改善に充てられる

「介護・障害福祉従事者処遇改善助成金」

1人当たり平均月額1万円賃金を上昇させることを想定

#### ②介護・障害福祉従事者及びその他の従業者の賃金の改善に充てられる「介護・障害福祉従事者等処遇改善特別助成金」

1人当たり平均月額6千円賃金を上昇させることを想定

※介護・障害福祉従事者：ホームヘルパー、福祉施設介護員など専ら保健医療サービスまたは福祉サービスに従事する者

